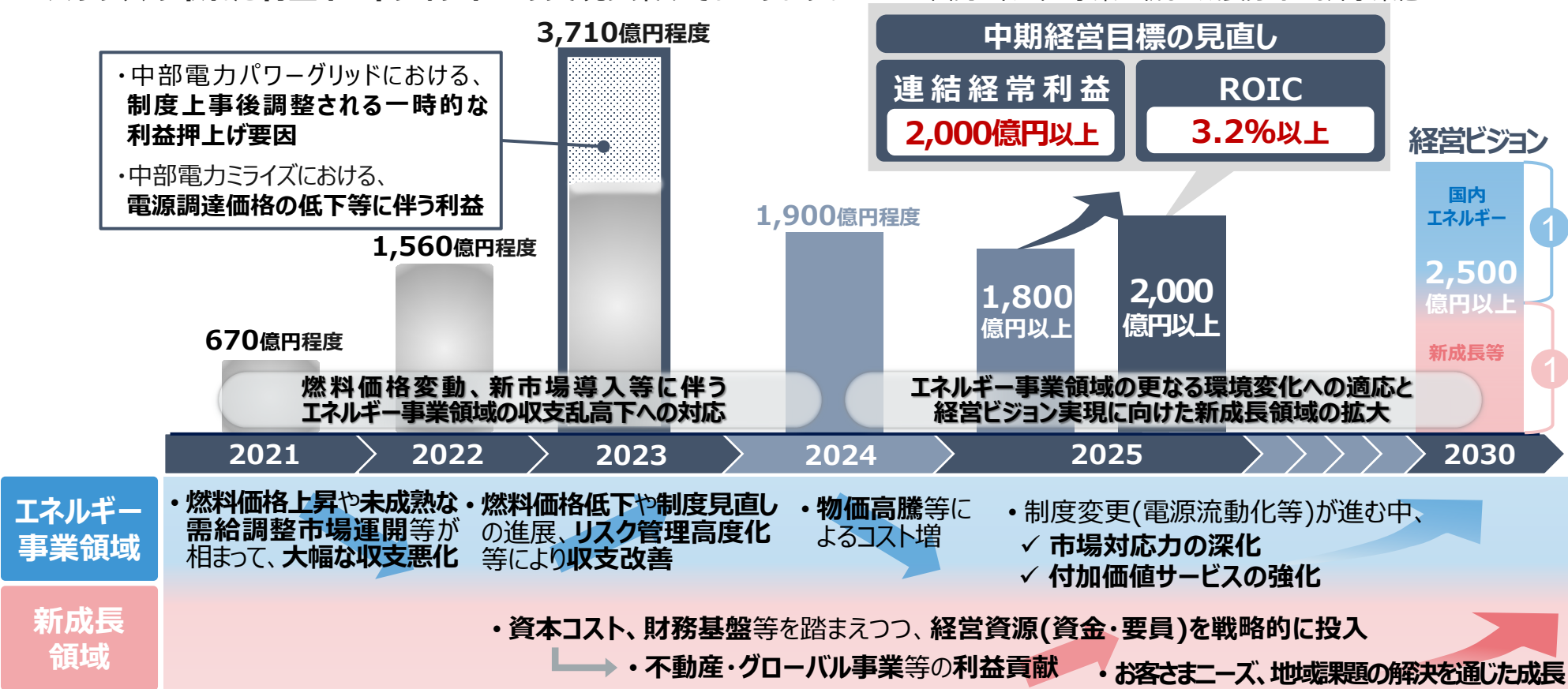


I 中期経営計画（2023年度）の振り返りと 対応の方向性

2023年度の振り返りと中期経営目標の見直し

- 2023年度の連結経常利益^{※1}は、中期経営目標の1,800億円を超える3,710億円程度となりましたが、中部電力パワーグリッドにおける制度上事後調整される一時的な利益押し上げ要因等が含まれており、2024年度は1,900億円程度に減益となる見通しです。
- 資源価格など不透明な事業環境が継続する中でも、市場対応力・付加価値サービスの更なる強化に努めるとともに、戦略的投資による収益拡大を図ることを踏まえ、中期経営目標を「連結経常利益2,000億円以上、ROIC^{※1}3.2%以上」に引き上げることといたしました。
- 引き続き、事業環境変化に適切に対応しながら、経営ビジョンに掲げる「2030年度連結経常利益2,500億円以上」の達成とバランスの取れた利益ポートフォリオ^{※2}の実現に繋げてまいります。 ※2 国内エネルギー事業：新しい成長分野・海外事業他 = 1 : 1



※1 連結経常利益およびROICは期ずれ除き

中期経営目標の見直しと目安となる財務指標

■ : 経営目標 □ : 目安

財務指標	2023年度 実績	2025年度 見直し前	2025年度 見直し後
連結経常利益※1	3,710億円程度	経営目標 1,800億円以上	経営目標 2,000億円以上
中部電力ミライズ	1,910億円	200～300億円	400～500億円
中部電力パワーグリッド	956億円	200～300億円	200～300億円
JERA	540億円	700～800億円	700～800億円
その他 (再エネ・グローバル・G会社等)	309億円	500～600億円	500～600億円
営業CF	6,400億円程度 (22～23年度累計)	9,000億円程度 (22～25年度累計)	1.1兆円程度 (22～25年度累計)
戦略的投資※2	1,900億円程度 (22～23年度累計)	4,500億円程度 (22～25年度累計)	4,500億円程度 (22～25年度累計)
ROIC※1	5.5%	経営目標 3.0%以上	経営目標 3.2%以上
ROE※1	11.6%	7%程度	7%程度
自己資本比率	36.4%	30%以上	30%以上

成長性

効率性

財務健全性

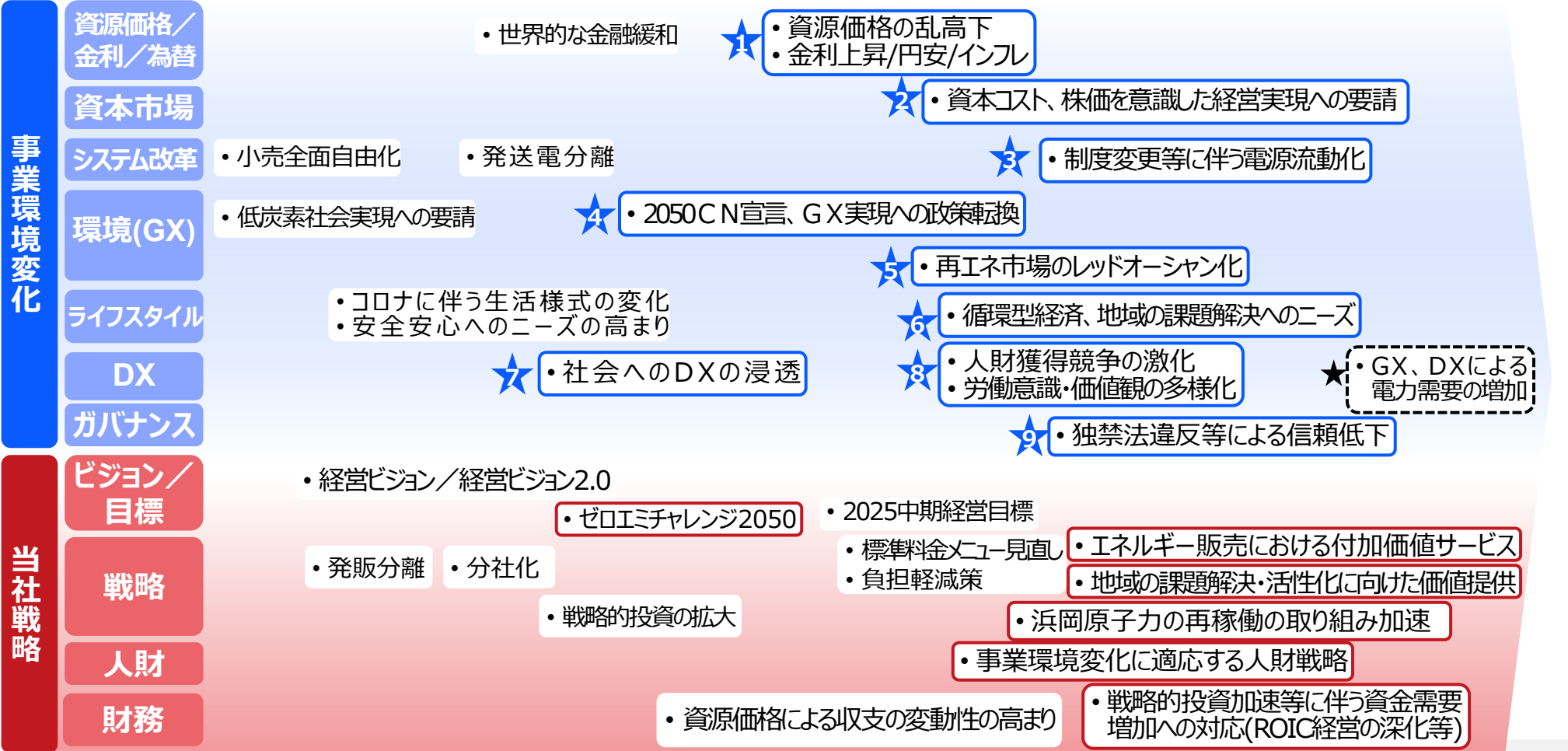
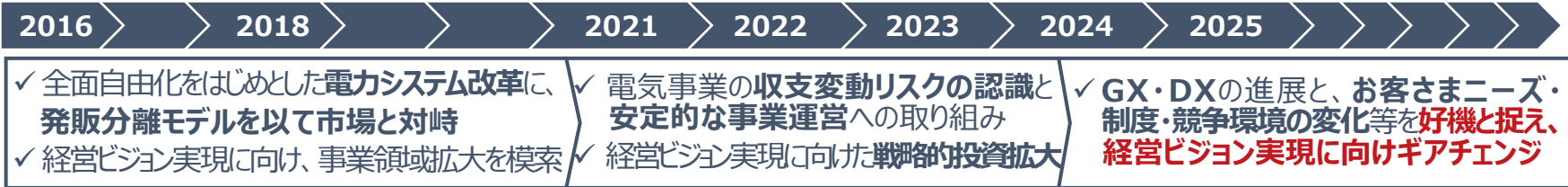
※1 期ずれ除き

※2 投資先分野の内訳見直し(22～25年度累計)

	見直し前
グローバル	2,500億円
再エネ	1,000億円
新しいコミュニティの形 資源循環 等	1,000億円

見直し後
1,500億円
1,000億円
2,000億円

事業環境変化と当社戦略



2023年度の成果/課題と対応の方向性

領域	成果と課題	対応の方向性(Ⅱ章参照)
エネルギー事業領域	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 負担軽減策等の実施による安価なエネルギーのお届け ● 地域特性を考慮した設備管理による安定供給の実現 ● ゼロエミッション電源の拡大によるCNへの貢献 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 浜岡原子力発電所の新規制基準適合性確認審査の進展 ✓ 再生可能エネルギー電源の着実な開発とM&Aの実施 <hr/> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 燃料価格のボラティリティや制度変更等を踏まえた電源調達 ● 再生可能エネルギー電源増加による電気の流れの複雑化 ● グローバルを含めたCNに向けた着実な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまニーズに寄り添った料金・サービスの提供 ● 地域特性に合わせた最適な設備構築 ● 脱炭素電源の開発・拡大によるCN社会実現への貢献 ● 浜岡原子力発電所の再稼働に向けた取り組み
新成長領域	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サービスラインナップの拡充による事業領域の多角化 ● 「iiNEタウン瑞穂」の開発等、地域に密着したまちづくりの推進 ● 自治体・企業との資源循環に関する連携協定 <hr/> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 早期の収益獲得とお客さま・地域社会への価値提供 ● マルチユーティリティ化に向けた新たな事業基盤の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● お客さまニーズや地域課題に応じた新たなサービスのお届け ● 不動産事業を通じた地域活性化 ● マルチユーティリティサービスの提供によるお客さま・地域への貢献
経営基盤	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な人財の活躍に向けた人財戦略の策定 ● AI技術等を活用したDXの進展による経営効率化 <hr/> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資本コスト・株価を意識した経営の実現に向けた対応 ● ビジネスパートナーと連携・協調したDX・安全の取り組み ● コンプライアンス違反事象を踏まえた対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資本コストを意識した経営の実現とPBRの向上 ● 人的資本のさらなる価値向上 ● コンプライアンス、ガバナンスに係る取り組み